

情報可視化論

Final Task

学籍番号: 175X220X

氏名: 藤田倫弘

[説明]

まず、画面は3分割されている。図1に示すように左から、ロブスターを表示する画面、現在の *isovalue* における色を表示している画面、そして UI 用の画面である。

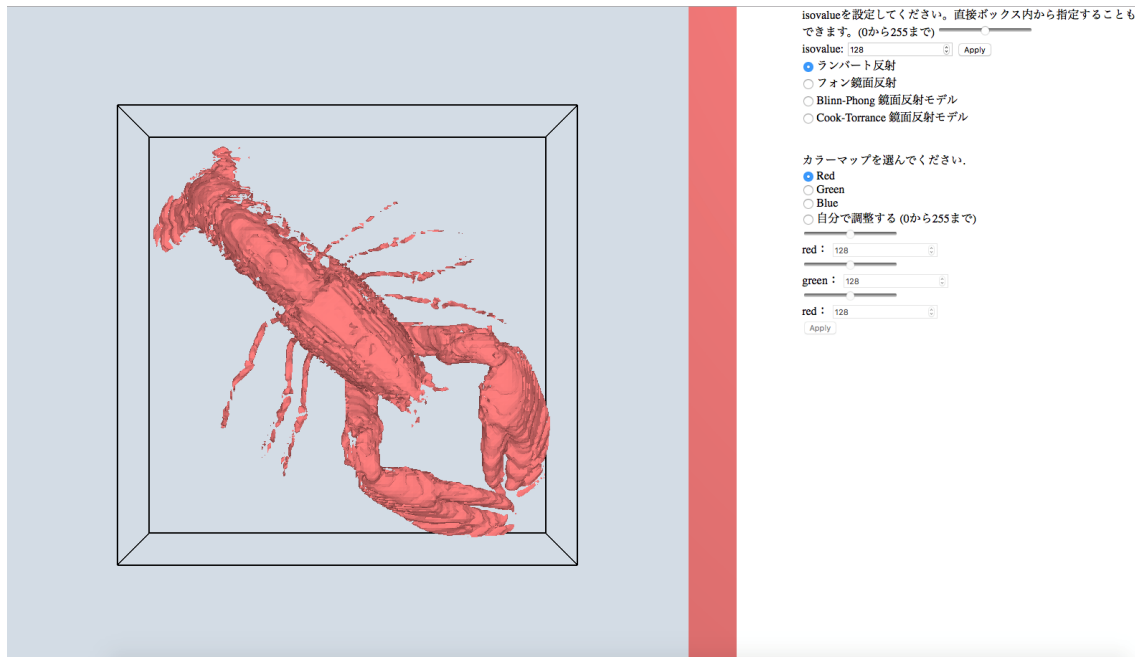


図 1. 全体図

プログラムでは *isovalue* のスライダーを動かすことで色を変更することができる。変更した色は真ん中の画面でリアルタイムに確認することができ、画面上部の **Apply** ボタンを押すことでロブスターデータに反映させることができる。また、*isovalue* の値は、下の数値を直接変更することでも更新させることができる。

さらに、デフォルトではランバート反射が選択されているが、これは他の反射を選択することで変更することが可能である。この変更時、反射の仕方は変わるが、ロブスターの色自体は現在のロブスターの色を引き継ぐので色を変更させたいときは、*isovalue* を変更し、**Apply** ボタンを押すことで変更が可能となる。

また、カラーマップは3種類から選択することができ、Red は白から赤に、Green は白から緑に、Blue は白から青へ変わっていくものになっている。さらに、他の色を調節したいときは「自分で調整する」ボタンを押し、スライダーまたは、数値を直接変更することで調整が可能である。この変更を適用するときは下部の Apply ボタンを押すことで決定することができる。自分で調整した色も中央の画面で確認することができる。